

## 高承濟博士年譜

- 1917年 2月5日 高義蹠(父)과 楊洪順(母)의 長男으로 咸南洪原郡三湖面 新荷里에서 出生.
- 1925年 4月 三湖公立普通學校入學
- 1931年 3月 同校卒業
- 1931年 4月 咸興公立農業學校入學
- 1936年 3月 同校卒業
- 1936年 4月 日本 明治學院 英文科 入學
- 1937年 3月 同校 1學年 修了
- 1937年 4月 日本大學豫科 2學年 編入
- 1939年 3月 同校卒業
- 1939年 4月 立教大學經濟學部 入學
- 1941年 12月 同校卒業
- 1942年 3月 山崎經濟研究所 研究員被任
- 1943年 7月 上記研究所 辭任
- 1943年 8月 東洋經濟研究所 研究員 被任
- 1943年 10月 M. Kalecki, Essays in the Theory of Economie Fluctuation, 1939을 「케인즈 雇傭理論入門」(日本語)으로 伊藤書店에서 出版.
- 1945年 5月 上記 研究所 辭任
- 1945年 9月 延禧大學校 副教授被任
- 1948年 5月 「經濟學入門」을 乙酉文化社에서 出版
- 1949年 6月 同校辭任
- 1956年 3月 高麗大學校 政經大學教授 被任
- 1956年 5月 서울大學校 商科大學教授 被任
- 1951年 9月 東國大學校 法政大學教授 被任
- 1953年 5月 C.A. Beard, The Economic Basis of Politics, 1945를 「政治와 經濟」로 陽文出版社에서 出版
- 1954年 3月 서울大學校 大學院委員 被命
- 1954年 5月 大韓民國學術院會員 被選
- 1954年 9月 「現代經濟論」을 世光出版社에서 出版
- 1954年 10月 Richard V. Clemence, Income Analysis, 1951를 「新經濟學」으로 民衆書館에서 出版
- 1955年 2月 「經濟學」을 章旺社에서 出版
- 1955年 8月 國防研究院(現 國防大學院) 顧問教授 被命
- 1955年 11月 George Soule, Introduction to Economie Science, 1954를 「新

- 經濟學解說」로 章旺社에 出版
- 1956年 4月 「韓國經濟論」을 新明文化社에서 出版
- 1957年 6月 高麗大學校 및 東國大學校 教授를 辭任
- 1958年 3月 「近代韓國產業史研究」를 大東文化社에서 出版
- 1960年 9月 서울大學校 大學院으로부터 經濟學博士學位를 受位
- 1961年 1月 서울大學校教授, 大學院委員 및 國防研究員顧問教授 辭任
- 1961年 2月 美國 켈럼비아大學 經濟學부의 研究教授 被任
- 1963年 4月 上記 大學 辭任
- 1963年 5月 펜실바니아 大學史學部 研究教授 被任
- 1964年 8月 上記大學辭任
- 1964年 9月 시카고大學 Research Center for Economic Development and Cultural Change의 研究教授 被任
- 1966年 5月 Stages of Industrial Development in Asia를 美國의 펜실바니아大學과 英國·印度·파키스탄의 옥스포드大學에서 出版
- 1967年 12月 上記 大學을 辭任하고 歸國하였음
- 1968年 3月 高麗大學校大學院 經濟學科 講師 被囑
- 1968年 8月 經濟·科學審議會議 常任委員 被任
- 1970年 「韓國金融史研究」를 一潮閣에서 出版
- 1971年 3月 서울大學校 東洋史學科 講師 被囑
- 1972年 10月 「植民地金融政策의 史的分析」을 東京 御茶の水書房에서 出版
- 1973年 4月 韓國開發研究院 理事 被任
- 1973年 6月 「韓國移民史研究」를 章文閣에서 出版
- 1975年 1月 「韓國經營史研究」를 韓國能率協會에서 出版
- 1976年 8月 「韓國近代化論」(論文集)을 社會思想社에서 出版
- 1977年 4月 韓國開發研究院 理事長 辭任
- 1977年 7月 「韓國村落社會史研究」를 一志社에서 出版